

# 秋出荷マイクロアスターにおける電照の消灯時期が開花期および品質に及ぼす影響

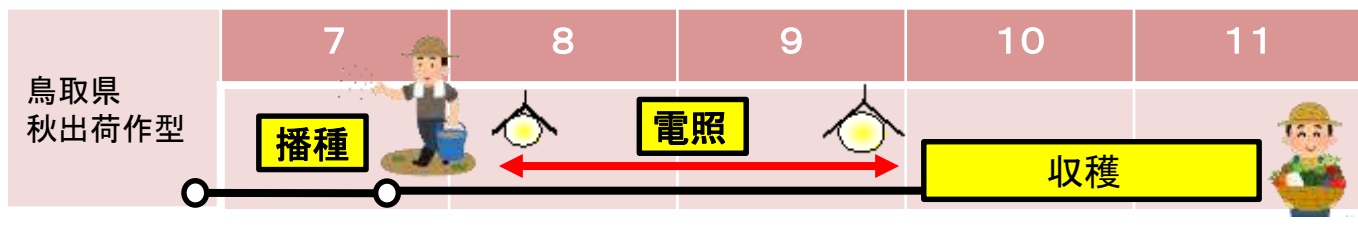
## 目的

## 園芸試験場 花き研究室

アスターは花芽形成に長日条件が必要だが、開花には短日条件が必要となり、日長が短くなる秋出荷栽培では電照栽培をおこない、適切なタイミングで消灯する必要がある。この消灯時期が草丈等の品質に影響するため、**品質向上に繋がる消灯時期を明らかにする。**



©大田花き



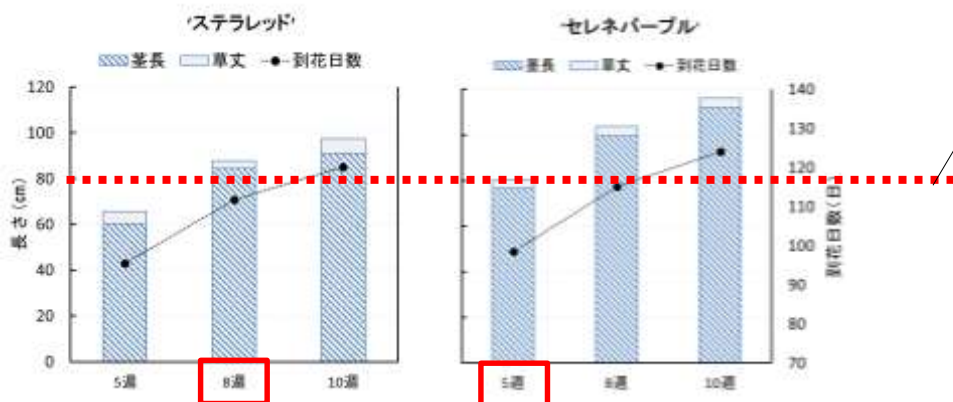
## 試験内容

‘ステラ’シリーズ、‘セレネ’シリーズ計5品種を7月26日に定植、1週間後から4時間の暗期中断（23～3時）で電照を実施。消灯時期を以下の3パターン設定した。

- ①定植5週間
- ②定植8週間
- ③定植10週間

※電照：園芸用LED電球を3mに1灯設置

## 結果



**草丈80cm以上**で最も高価な「秀」規格で出荷可

- ◆ 適した**消灯のタイミングは品種によって異なる**
- ◆ ステラ系は**定植後8週間(長さ約60cm)**、セレネ系は**定植後5週間(長さ約40cm)**で消灯すると 秀品で出荷可能

※移植栽培の結果であり、直播栽培は草丈を参考に消灯時期を判断

※過剰な電照は草姿の乱れ等の品質低下や大幅な開花遅れ等の可能性があるため、収穫時期等を考慮しながら消灯する